

トピックス

「航空電子グループの森」にて森林保全活動

日本航空電子工業株式会社

10月に東京・奥多摩にある「航空電子グループの森」にて、2016年度新入社員研修の一環として新入社員40名による森林保全活動を実施しました。

当社は環境経営のシンボルとして、2004年6月に東京・奥多摩に「航空電子グループの森」を開設しました。(財)東京都農林水産振興財団が、水資源確保、地球温暖化防止の面から、東京・奥多摩に伐採後放置されたままの山を、再び森林として整備する「企業支援の森事業」を企画されました。当社昭島事業所(東京都昭島市)で利用する水は、昭島市からの水道水を含めて全てが地下水であり、奥多摩の森林地帯がその水源とされていることから、分収林事業としての「企業の森」第1号として参画したものであります。

地域関係者のご協力のもと、社員による森林保全活動を通じて、環境意識の向上、森の育成、水資源の保全などに取り組んでいます。

当日は、東京都森林組合の指導のもと、「下刈」、「通路整備」、「鎌研ぎ」、「伐採体験」などの作業を通して、森林保全活動の理解を深めることができました。

これからも「航空電子グループの森」をシンボルとして、地球にやさしい環境づくりに貢献していきたいと思っております。



航空電子グループの森



下刈作業の様子



森保全活動に参加した新入社員